

2024 ふりかえり

I

一人ひとりの
個性と尊厳を尊重し
質の高い支援を実現、
早期に経営状態の改善と
安定化をめざします。



相談事業所の合同研修会

II

孤独・孤立の防止、
社会参加の推進を通じて
地域共生社会の実現を
めざします。



八街エリア「誰でも食堂」

III

働きがいのある環境と、
ライフスタイルに応じた
働きやすい職場を
作ります。

- 全** ●業務チェック表未整備の分野について整備を実施し、年度末までにほぼ完了しました。
- 高** ●行政報告が必要な虐待事案が1件発生。当該事業所にて虐待防止研修を早期に実施しました。
●高齢分野以外で、虐待が疑われる案件として行政へ報告した案件は2件でした。
- 高** ●マイスター認証審査は10月と2月に実施し、マイスターに5名が合格しました。
- 高** ●介護福祉士国試対策を実施し20名エントリー、18名合格。合格率90%(全国78.3%)。
- 全** ●赤字や経営課題の大きい事業所は個別プロジェクトで事業転換や収支改善を図りました。
- 全** ●経営改善プロジェクトで決めた2025年度に経常増減差額2億円(経常増減差額率3%)という目標を2024年度に達成でき、年度末賞与増額、インセンティブ支給をしました。
- 全** ●WEBロコミについては、グーグルマップを管理する「カンリー」を9月に導入しました。
- 高** ●きなりの街すわだは12月末をもってガンバの会との連携・住まいの提供は終了しました。
- 高** ●デイサービスセンターKirariは、稼働率は平均で90%以上を維持しました。
- 障** ●あかとんぼ稲毛(生活介護・児童発達支援)は、周知が進み、加算算定もできました。
- 高** ●八街の太陽光発電への切り替えは売電と設備投資のバランスが取れないため断念しました。
- 全** ●業務車両を5台購入としました。事業所がリースか購入か比較検討し判断しています。
- 全** ●経理業務は押印の簡素化を図りました。ペーパーレス化は次年度検討していきます。
- 保** ●採用の在り方を見直し、専門ナビの新規契約と専門の合同説明会に参加しました。
- 高** ●外国人採用を強化しました。(EPA2名、介護ビザ3名、定住者1名、留学ビザ2名、特定技能11名)
- 全** ●職場の心理的安全性について、カスハラ指針の見直しやマニュアルの整備を進めました。
- 全** ●ユニバーサル就労の仕組みをリワークやメンタル不調の方に活かし雇用継続を図りました。

- 全** ●安心システム活動拠点は推進会議で決定した計画に基づき、各種サロン等を実施しました。
- 全** ●2月に拠点の活動を共有することを目的に実践交流会を開催しました。
- 全** ●生活クラブ千葉グループ4者統一方針は24年度をもって終了となりました。
- 保** ●4月に君津市に児童家庭支援センターを新規開設しました。
- 保** ●流山市学童保育の2025年からの指定管理者に選定されました。
- 障** ●リカバリーカレッジは、実行委員会やミーティングを重ね、講座開催に繋がりました。
- 保** ●ちばこどもおびスプロジェクト、CHIBASHIこども若者未来会議、外国につながるこども若者支援ネットワーク、森の研究会、子ども・若者支援全国ネットワークの活動に参加しました。
- 全** ●ちば社会的連帯経済研究所、つながる経済フォーラムちばの活動は千葉グループと連携しフォーラムや講座の開催、研究誌発行をしました。
- 全** ●千葉県「ちばSDGsパートナー」に登録しました。
- 全** ●今年度は次の3つのテーマで活動(企画)しました。
①ユニバーサル就労に関する多様な経験を語る場・機会をつくる
②アンケート結果に基づいて、誰もが活力を持って働く職場作り
③居場所づくりの一つとしてプレーパークを推進する
- 全** ●法人設立25周年では、「笑顔の25周年記念動画」「理事長メッセージ」等を公開しました。



サロン風景



生活クラブ 風の村
ありがとう25周年

- 全** ●管理者が職員と常に交流を図り、キャリアの見直しを確認し記録する方法に変更しました。
- 全** ●考課は、年2回から月次(1か月から四半期ごと。管理者によって設定)に変更しました。
- 全** ●ハラスメント防止の重点実施項目研修を実施しました。
- 全** ●コンプライアンス相談室には14件の相談・通報がありました。
- 全** ●カスタマーハラスメントの基本方針とマニュアルを作成しました。
- 全** ●災害対策委員会にてBCP作成、更新状況を確認し、能登支援や石巻研修の共有をしました。
- 全** ●能登支援の経験をもとにガイドブックを作成し、法人内・関係法人と共有しました。



内部研修風景

2025 事業計画

- 全** ●業務チェックにおいて「不適及び未実施」項目は年度内に「適切」となるよう改善します。
- 高 障** ●「意思決定支援」の研修を実施し、ガイドラインの理解を推進します。
- 全** ●10の基本ケアを理解し、自立支援へ向けたケアを実践できている事業所を増やします。
- 全** ●「不適切ケア」を防ぐことを目的に虐待防止及び身体拘束適正化委員会を定期開催します。
- 高 障** ●アプリにて制度情報の積極的な発信を行い、基準の厳守、加算取得につなげます。
- 高 障** ●介護福祉士受験の職員対象を高齢及び障がい児者分野として受験対策講座等、支援します。
- 全** ●2025年度は法人全体の経営改善コンサルタント支援を受けず自立した経営をしていきます。
- 全** ●法人サイト(ホームページ)のリニューアル作業を開始、2026年4月リリース予定です。
- 全** ●グーグルマップ管理サービスの活用促進と共に経営会議報告で活用例を紹介していきます。
- 全** ●健全経営の継続を前提に新規事業、コストを掛けた事業転換等の検討もしていきます。
- 高** ●市川の訪問介護事業は5月末に終了し6月より定期巡回事業を新規事業として開始します。
- 高** ●きなりの街すわだは要介護の方向けの低額の有料老人ホームとして下期に再開します。
- 障** ●佐倉エリアで知的障がい者のグループホーム建設において調査・準備をします。
- 保** ●学童保育で請求書の電子化を10月に始めます。
- 高 障** ●風の村いなげ大規模修繕工事を実施します。
- 全** ●太陽光発電への切り替えについて補助金、寄付金の活用を検討します。
- 全** ●情報セキュリティポリシーを策定し対策方針や行動指針を明確にします。
- 全** ●タブレットを用いた電子契約書導入の検討や提案を進めます。
- 高** ●「生産性向上委員会」を、介護保険で設置義務が規定されている事業所に設置します。
- 保** ●こども事業部の保育士採用に特化した採用パンフレットを作成します。
- 高** ●外国人職員の集合研修を実施します。課題や悩みを共有する交流の場を設けていきます。
- 高** ●OJTの充実とプリセプター(業務上の指導者)制度の導入を行います。
- 高** ●介護福祉士養成課程を有する学校との関係を強化します。
- 全** ●全職員をユニバーサル就労の対象とし、個別相談支援・訪問カウンセリングを実施します。



保育士採用パンフレット

- 全** ●安心システム活動は流山、光ヶ丘、いなげ、八街、なりた拠点は継続展開します。
- 保** ●CANS(ちばアフターケアネットワークステーション)の東葛地域の拠点設置を検討します。
- 保** ●柏市で予定されている子どもや若者を総合的に支援する事業に協力します。
- 障** ●ぴあ基金を活用したリカバリーカレッジ(茂原、佐倉、市原、千葉)を開催します。
- 障** ●基金の有効活用を運営委員会の意見も参考にしつつ検討します。
- 保** ●千葉県で「こども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」開催を検討する場に参加します。
- 全** ●SDGsメンバーを前年と同じく手上げ方式で募集を行い、5月以降の活動を予定します。



認知症カフェ

- 全** ●新たに精神科医と契約し、メンタル不調のある職員が利用できる仕組みを作ります。
- 全** ●ワークサポート休暇で公休が増えましたが、さらに増やすことができるよう検討します。
- 全** ●2年次研修にて「社会福祉法人の経営」・「全員参加型経営」を学ぶ機会をつくります。
- 高** ●認知症ケアリーダー研修に動画を加え、事業所内研修への活用を促していきます。
- 全** ●千葉県以外での災害発生時にも社会福祉法人としての協力できる体制を整えます。
- 全** ●石巻の視察を継続し、管理職に加え防災担当者も参加メンバーとし防災対策に役立てます。
- 全** ●佐倉成田エリアを佐倉エリアと成田エリアに分離し運営していきます。
- 全** ●現在の理念は「行動指針」と位置づけ、浸透しやすい理念を改めて決めます。
- 全** ●第7次中期計画策定PJを設置し2026年度からの3か年計画を決定します。



災害時の調理実習